

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～20	日 本 史	22～38
世 界 史	40～58	地 理	60～75
数 学	76～81		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

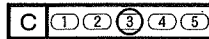
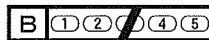
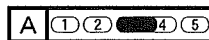
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

中央アジアの古都サマルカンドをめぐるには「チンギス＝ハンは破壊し、ティムールは建設した」という言葉が伝えられている。

紀元前よりサマルカンドはブハラとともにマー・ワラー・アンナフル(ソグディアナ、⁽¹⁾トランスオクシアナ)の中心的なオアシス都市であり、シルクロード上の中継都市としても重要な位置にあった。その繁栄はイスラム化の波を受けても変わることはなかったが、1220年頃にモンゴル軍による征服を受け、大規模な破壊を被ることとなった。1221年にサマルカンドを訪れた長春真人は、城内の戸数は四分の一まで減っていたと記しており、^(a)1333年に訪れたイブン＝バットウータは、市街の大部分が廃墟になっていたと記している。これを復興させたのがティムールである。

1336年、ティムールはチャガタイ＝ハン国西部のケシュ近郊にいたモンゴルの部族の一つであるバルラス部族の家⁽³⁾に生まれた。その頃、チャガタイ＝ハン国は遊牧民の生活・文化やモンゴルの伝統を重んじる東部と、先住の定住民の生活・文化に馴染みトルコ化、イスラーム化が進んだ西部とで分裂した。ティムールの育った西チャガタイ＝ハン国ではモンゴル系の諸部族が割拠するようになり、ハンは傀儡化し、有力アミールのカザガンが実権を掌握するようになった。当初は少数の家臣団を率いるだけだったティムールは次第に家臣団を大きくしていき、1360年に東チャガタイ＝ハン国がマー・ワラー・アンナフルを攻撃すると、これに帰順し勢力を拡大した。ついでティムールはカザガンの孫のフサインと手を組み、1364年に東チャガタイ＝ハン国の勢力を駆逐すると、1370年にはフサインを倒し、マー・ワラー・アンナフルに覇権を確立した。ティムールはチャガタイ＝ハン国の復活、さらにモンゴル帝国の復活を目指し、大規模な征服戦争を繰り返した。まず旧チャガタイ＝ハン国領の支配を固めると、イラン方面に遠征してこれを征服した。さらに西方に進み、1393年にはバグダードを征服し、1400年

にはダマスカスに到達し、1402年にはオスマン帝国との戦いにも勝利した。それとともにキプチャク=ハン国にもしばしば遠征して勝利を収め、巨大な帝国を確立するに至った。そして1404年11月、ついに明朝への遠征のためサマルカンドを出発したが、翌年2月、その途上で病没した。

ティムールはサマルカンドをこの巨大帝国の首都とし、征服した各地から職人・学者・芸術家をはじめ15万を超える人を移住させた。大量の物資を運び入れ、大規模な建設事業を行うとともに、近郊に新しい村をつくり、バグダード・ディマシュク(ダマスカス)・ミスル(カイロ)・スルターンニヤ・シーラーズといったイスラーム王朝の首都の名前をつけた。これはサマルカンドをイスラーム世界の中心にすることを意図していたためと考えられている。ティムールの死後、首都がヘラートに移されることもあったが、サマルカンドの繁栄は続き、ティムール一族の廟に加え、モスクやマドラサ、天文台などが築かれ、現在に残されている。これらの建物は「サマルカンド・ブルー」とも呼ばれる青のタイルに特徴があり、サマルカンドは「青の都」とも呼ばれている。北アジア・中央アジアの遊牧民族の間には古来より「天」を崇拝する伝統があるが、ティムールが青を好んだのはこの遊牧民の精神のためであろうと考えられている。サマルカンドはイスラームの文化とモンゴルの文化の融合の上に成り立った町なのである。

またティムールはチンギス=ハン一族の者をハン位につけて傀儡とし、自らはチンギス=ハン一族の娘と婚姻関係を結びながら、表向きはハンの補佐役という立場をとった。ダマスカスでティムールと会ったイブン=ハルドゥーンは、ティムールが自らを「ハンの副官の一人」と言ったと記しているが、同時に「モンゴル族やタタール族のスルターン」とも記している。一方、ティムールはイブン=ハルドゥーンに故郷の北アフリカ西部地域の事情を書物にまとめることを求めている。すでにティムールはモンゴル帝国の枠を超えることも意図していたのかもしれない。

ティムール帝国は内部抗争で弱体化していき、1507年にはシャイバーン朝によって滅ぼされた。ティムールの子孫のバーブルはアフガニスタンを根拠地としてサマルカンドの奪還を目指したものの果たせず、やがてインド北部へと侵入し、ムガル朝としてティムール朝を復活させた。

世界史

シャイバーン朝はイランのサファビー朝と抗争を続け、16世紀末には大敗北を喫し、やがて滅亡した。サファビー朝は火器を重視しており、その勝利は、モンゴルの得意とした騎馬戦術だけでは軍事的優位を保てない時代が到来したことを意味していた。また、サファビー朝が遷都したイスファハーンは17世紀には絹貿易の一大中心地となり、「イスファハーンは世界の半分」とも言われるほどの繁栄を誇った。この頃、オスマン帝国との対抗上、サファビー朝と西欧諸国との結びつきが強まったが、同時に西欧諸国の商業的進出も進み、イスファハーンにもイギリス・オランダの東インド会社の商館が置かれた。こうしてサファビー朝も新たな世界史のうねりの中に取り込まれていったのである。一方、それとは対照的に、この後、サマルカンドがティムール帝国時代のような「世界の中心」としての輝きを取り戻すことはなかった。

問1 下線部(1)について、ブハラ近郊の生まれでサーマーン朝などに仕え、その学問がヨーロッパにも大きな影響を与えた人物として正しいものを、1～5のうちから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 イブン=シーナー | 2 ウマル(オマル)=ハイヤーム |
| 3 ガザーリー | 4 フワーリズミー |
| 5 ラシード=アッディーン(ウッディーン) | |

問2 下線部(2)について、モンゴル軍が攻撃した時にサマルカンドを支配していた王朝として正しいものを、1～5のうちから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-------------|---------|
| 1 ガズナ朝 | 2 カラハン朝 |
| 3 ゴール朝 | 4 ブワイフ朝 |
| 5 ホラズム=シャー朝 | |

問3 下線部(3)について、チャガタイ=ハン国に関する以下のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。正しいものの合計数を解答欄にマークせよ。

ア タブリーズを首都とした。

イ モンテ=コルヴィノがハンと面会した。

ウ ハンはチンギス=ハンの第三子の家系であった。

エ フビライと友好を保ちハイドゥの乱を平定した。

問4 下線部(4)について、マドラサや天文台を建設し、好学の君主として知られるティムール帝国の第4代君主として正しいものを、1～5のうちから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

1 ウルグ=ベク 2 ガザン=ハン 3 シャー=ルフ

4 ジャハーンギール 5 ニザーム=アルムルク

問5 下線部(a)について、長春真人は王重陽の高弟の一人であるが、王重陽が開いた教団は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問6 下線部(b)について、以下の問いに答えよ。

①ティムール軍がオスマン軍を破った戦いを何というか。その名称を解答欄に記入せよ。

②この戦いで捕虜にされたオスマン帝国の君主は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

問7 下線部(c)について、スルターニーヤはイル=ハン国の第8代君主によって建設された都市であるが、イル=ハン国を建国した初代君主は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

問8 下線部(d)について、イブン=ハルドゥーンの世界史『イバルの書』の初めの部分で、遊牧民と定住農耕民との関係などから歴史理論・文明論を展開した著作を何というか。その名称を解答欄に記入せよ。

世界史

- 問9 下線部(e)について、アラビア語で「日の没する土地」を意味する、チュニジア・アルジェリア・モロッコなどから成るこの地域を指す地域名は何か。その名称を解答欄に記入せよ。
- 問10 下線部(f)について、ティムール朝を滅ぼしてシャイバーン朝を建てたのは何という民族か。その名称を解答欄に記入せよ。
- 問11 下線部(g)について、バブルによって滅ぼされたデリーを首都とした王朝は何か。その名称を解答欄に記入せよ。なお「朝」は省略しても構わない。
- 問12 下線部(h)について、サファビー朝の君主号として用いられたペルシア語で「王」「支配者」を意味する言葉は何か。その言葉を解答欄に記入せよ。
- 問13 下線部(i)について、1598年にイスファハーンに遷都したサファビー朝の君主は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

初代総長 によって創立されたイエズス会は、東アジアやラテンアメリカなどにおける伝道活動を積極的に進め、⁽¹⁾ヨーロッパ各地に学校を設立した。教皇の地位を擁護し、ヨーロッパの再カトリック化に寄与したイエズス会士は、ヨーロッパだけでなく、スペインの植民地においても、政治的に強い影響力を持つようになった。彼らは、原住民に対して様々な教令を発する一方で、チョコレートを飲むという原住民の習慣を受け入れた。こうしてカカオは、スペインを介してヨーロッパに広まっていった。

17世紀半ば以降、イギリスがスペインから奪い取った植民地産のカカオがロンドンの市場に出回るようになった。当時の週刊誌には、「西インド諸島渡来の素晴らしい飲み物、チョコレートを…(中略)…その場で飲むもよし、材料を格安で買うもよし、用い方も伝授。その優れた効能はどこでも大評判。万病の治療、予防に効果あり。効能を詳しく解説した本も同時に販売」という広告が掲載されている。この時期にチョコレートは温かい飲み物としてとても人気があり、出版物はこぞってこれをほめそやし、様々なレシピを掲載した。

また、ロンドンのチョコレートハウスは、コーヒーハウスと並んで、貴族階級や紳士階級、新たに出現した中流階級の政治的・文化的生活に深い関わりをもっていた。こうした場所は当初から政党関係者の溜り場となり、事実上の本部として利用されることも少なくなかった。中でも、ココアツリー・チョコレートハウスは、名譽革命の反革命勢力ジャコバイトたちの会合場所としてよく知られていた。そして18世紀半ばには、 関係者の溜り場となった。このクラブの会員の中には、 やギボンがいたとされる。

イギリスでは、金さえあれば誰でもチョコレートを購入できたが、フランスでは、チョコレートは貴族階級だけのものと決まっていたようである。ヴェルサイユ宮殿では、あらゆる公式行事や接見などの折に、チョコレートが振る舞われていた時期があったと言われている。また、海外進出によって世界各地と貿易するようになると、ナントやボルドーといった主要な貿易港は、三角貿易による利益で繁栄した。⁽³⁾18世紀の啓蒙思想家たちは、人間の自由を信じていたかもしれない⁽⁴⁾

世界史

が、彼らが飲んでいた西インド諸島産の泡立つチョコレートは、汗水流して働く奴隷たちによって生産されたものだったのである。

18世紀までのヨーロッパでは、焙炒したカカオ豆からペースト状のカカオマスを作り、それをそのまま、またはお湯に混ぜて飲用していた。しかしカカオ豆に含まれる脂肪分の含有量が多いため、水との馴染みが悪く、しかも発酵した酸が残っていて刺激が強いままの状態であった。19世紀初めにこれらの問題を解決し、今日知られているココアパウダー製造法を発明したのが、オランダ人ヴァン＝ホーテンである。その後、イギリスでチョコレートを製造していた会社が砂糖入りのココアの粉末を、湯ではなく溶かしたカカオバターと混ぜる方法を開発し、これによって従来より薄くて粘り気のある、型に流し込んで成型するのにちょうどよいペーストを作ることができた。こうして食べるチョコレートが登場したのである。

問1 空欄 に入る、最も適切な人物は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

問2 空欄 に入る、国教会を擁護し地主階級の利害を代表した党は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問3 空欄 に入る、アイルランド出身の小説家で、同時代の社会や政治、宗教を鋭く風刺し、『ガリヴァー旅行記』を著した人物は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

問4 下線部(1)について、以下の1～4の文章のうち正しくないものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 ポルトガル出身のフランシスコ＝ザビエルは、インドや東南アジアで布教活動をした後に、日本にはじめてキリスト教を伝えた。
- 2 マテオ＝リッチは、明朝から北京居住と布教活動を許された人物で、中国におけるカトリック伝道の基礎を築いた。
- 3 イエズス会は中国人信者に対し、孔子や祖先の祭祀に参加することを認めたが、ドミニコ会やフランチェスコ会はこれを批判して教皇に提訴した。
- 4 教皇至上権やカトリックの教義の確認、禁書目録の制定を行ったトリエント公会議など、カトリックの信仰上、道徳上の刷新を目指した動きを対抗宗教改革と呼ぶが、イエズス会の活動もその一部に位置づけられる。

世界史

問5 下線部(2)について、西インド諸島の正しい位置が含まれるゾーンを a ~ f のうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

a 西経30° ~ 東経30°

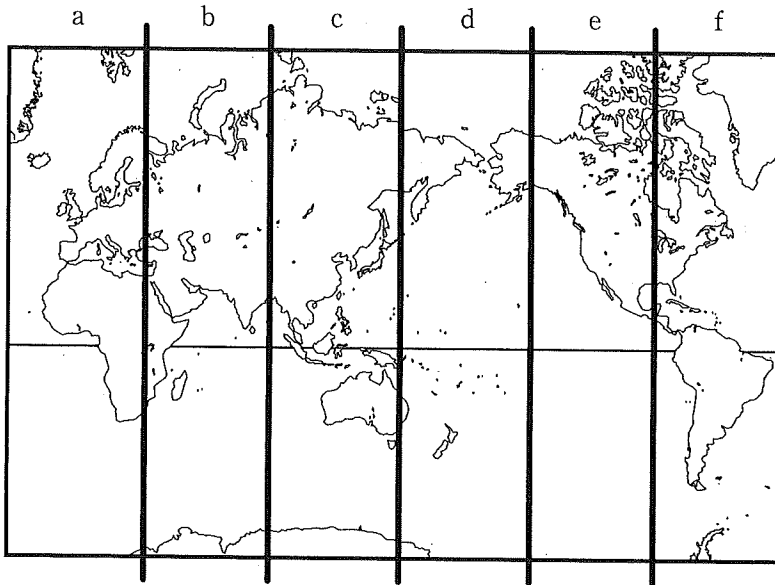
b 東経30° ~ 東経90°

c 東経90° ~ 東経150°

d 東経150° ~ 西経150°

e 西経150° ~ 西経90°

f 西経90° ~ 西経30°



問6 下線部(3)について説明した以下の文章を読み、空欄 ～
 に入る最も適切な語を、以下の語群から一つ選び、その番号を解
 答欄にマークせよ。

三角貿易とは、収支のバランスを取るために3地点間で行われる貿易のこ
 とを指す。大西洋をめぐるこの貿易は、ヨーロッパ人の消費生活を大きく変
 え、参加した諸国に大きな利益をもたらした。イギリスでは、 や
 ブリストルといった港湾都市がこの貿易によって栄え、またこの貿易で得ら
 れた富が、 を促す一因となつたとされている。この貿易の仕組み
 を詳しく見てみると、ヨーロッパからアフリカ大陸に や雑貨が送
 られ、それと交換で得た奴隷をアフリカ大陸から に送り込み、奴
 隷によって生産された やタバコなどの産物をヨーロッパに持ち帰
 って売りさばくというものであった。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1 アヘン | 2 アムステルダム | 3 インド |
| 4 ギニア | 5 コショウ | 6 コーヒー |
| 7 砂糖 | 8 産業革命 | 9 塩 |
| 10 資本 | 11 先住民 | 12 茶 |
| 13 奴隷 | 14 南北アメリカ | 15 武器 |
| 16 プランテーション | 17 ボルドー | 18 マンチェスター |
| 19 リヴァプール | 20 リスボン | 21 ロンドン |

世界史

問7 下線部(4)について、以下の a～f の文章には正しくないものが二つある。その組み合わせとして正しいものを下記の 1～15のうちから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- a モンテスキューは『法の精神』でイギリスの憲政をたたえ、イギリスをモデルに三権分立を説き、王権の制限を主張した。
- b カトリック教会を批判し、『哲学書簡』でプロイセンを賛美したヴォルテールとともに、ルソーは万人の平等に基づく人民主権論を主張した。
- c デイドロはダランベールとともに、『百科全書』の編集に携わった。この著作は、フランス啓蒙思想家たちの思想を集大成したものとして、社会的反響が大きかった。
- d 啓蒙思想は経済の領域にも適用され、フランスではケネーを創始者とする重農主義の理論が生まれた。これは富の源泉を農業に求め、経済活動の自由放任を主張するものである。
- e 三権分立は、ルソーやモンテスキューによって体系化された。アメリカ合衆国憲法において成文化された政治原理となり、フランス人権宣言にも取り入れられた。
- f アダム＝スミスはフランスの重農主義から影響を受けながら、資本主義を体系的に分析し、自由放任主義や自由貿易を主張し、『諸国民の富』を著した。

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
| 1 | a・b | 2 | a・c | 3 | a・d | 4 | a・e | 5 | a・f |
| 6 | b・c | 7 | b・d | 8 | b・e | 9 | b・f | 10 | c・d |
| 11 | c・e | 12 | c・f | 13 | d・e | 14 | d・f | 15 | e・f |

問8 17世紀から18世紀は科学革命の時代と呼ばれ、近代的合理主義に根ざした思想や学問が本格的に確立し、自然界の研究が進歩した。これに関連する以下の文章を読み、空欄に入る最も適切な語を、空欄 ～ については以下の語群Aから、空欄 ～ については以下の語群Bから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

近代物理学の基礎を築いたニュートンは、天体運動の観察から万有引力の法則を唱え、近代化学の基礎を作ったボイルは、気体の圧力と体積の関係を解明したボイルの法則を発見した。この時期には、動物や鉱物、地質などの自然事象を探求する学問である博物学も盛んになり、スウェーデン出身の は、動植物の分類について研究し、とりわけ植物分類法の体系化に貢献した。

18世紀後半になると、 が、燃焼を理論化し、物質の質量は化学変化の前と後で変わらないとする質量保存の法則を打ち立てた。免疫学の基礎を築いた は、天然痘の発症を予防する種痘法を理論化した。

実験や観察などを通じた自然界の研究は、近代哲学への道を拓くこととなった。ベーコンは、実験や観察で得られた個々の事例を集めて、そこから一般法則を導き出す による経験論を説き、デカルトは、前提をたて、そこから論理的に結論を導き出す による合理論を打ち立てた。デカルトの著作『方法序説』に書かれている「 」という言葉は、すべての存在を疑った結果、疑うという行為をする自分の存在の確実性に行き着き、自己の理性を起点とする考察を説いたものとして知られる。

自然科学の発展を支えた旺盛な探究心は、やがて人間社会の考察にも向かい、近代的な自然法思想が生まれ、国家の起源が議論されるに至った。

グロティウスは、自然法思想を国家間の関係に適用して近代国際法の発展に寄与した。また、ホブズは『リヴァイアサン』で自然状態を「 」であると捉えて、これを解決するために、人々は為政者に個人の自然権を委ねたとし、 の絶対性を主張した。これに対して、ロックは自然状態で平和や自由を享受する人間は、 により自由権の一部を委譲して政府を形成したとする説を展開した。

世界史

語群 A

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1 ケプラー | 2 ジェンナー | 3 スピノザ |
| 4 ハーヴェー | 5 パスカル | 6 パストゥール |
| 7 ファラデー | 8 ヘルムホルツ | 9 ライプニッツ |
| 10 ラヴォワジエ | 11 ラプラス | 12 リンネ |

語群 B

- | | | |
|----------------------------|-----------|-------------|
| 1 あらゆる主権の原理は、本質的に国民のうちに存する | | |
| 2 演繹法 | 3 帰納法 | 4 契約 |
| 5 合意 | 6 国民主権 | 7 国家主権 |
| 8 三権分立 | 9 実在論 | 10 史的唯物論 |
| 11 社会進化論 | 12 純粹理性批判 | 13 神授 |
| 14 人民の、人民による、人民のための政治 | | |
| 15 数学的思考法 | 16 单子論 | 17 統治二論 |
| 18 人間は考える葦である | | |
| 19 人間は自由かつ権利において平等 | | |
| 20 万人の万人に対する闘い | | |
| 21 普通選挙 | 22 唯名論 | 23 レッセ=フェール |
| 24 われ思う、ゆえにわれあり | | |

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

フランス革命に始まり第一次世界大戦に終わるいわゆる「長い19世紀」は、再配分的な世界帝国から資本主義的な世界経済へと移行した時期であった。グローバルな規模で資本主義的な経済システムが拡張し、大陸間を移動する労働者の大きな流れが生じていった。19世紀のアメリカ合衆国は、こうした遠距離間を移動する移民労働者を大量に受け入れる労働市場の一つとなった。西部では、A 戦争により獲得したカリフォルニアで起きたゴールドラッシュのために、中国から多くの契約労働者が到来した。南部では、サトウキビやタバコのプランテーションに、イタリアやキューバやスペインなどから出稼ぎ者が多数やってきた。さらに工業化が進む北部では、東欧や南欧などから移民が押し寄せた。こうした移民の流入に対して、規制を求める排外主義の風潮が次第に強まっていた。1882年には、中国からの移民労働者を制限する中国人移民禁止法がアメリカ合衆国議会にて制定され、1885年には、ヨーロッパからの契約労働者の入国を禁止するフォーラン法が制定された。しかし、解放された黒人奴隷が別の地域に移住したことなどにより、農場での季節労働者に対する需要が高かった南部では、移民を規制する法律は必ずしも守られていなかった。

一方、南欧ならびに東欧からのいわゆる新移民が多く流入した北部の都市では、彼らに対する反発や偏見が広がっていった。新移民はカトリック教徒が多かったことから、ヨーロッパの封建的なローマ教皇に忠誠心を抱き、アメリカ的な民主主義の精神と相容れない存在として差別を受けた。また、無政府主義などの急進的な政治思想をヨーロッパから持ち込む不穏分子とみなされ、危険視された。1886年にシカゴのヘイマーケット広場で爆破事件が起き、外国生まれの無政府主義者が有罪になると、新移民への風当たりは一層強まった。また、1900年に「祖国なき者たち」と名乗る無政府主義者のイタリア人移民が、イタリアに戻り国王のウンベルト1世を暗殺すると、新移民に対する警戒感はさらに高まった。翌年、このイタリア国王暗殺事件に刺激を受けたアメリカ生まれのポーランド系移民2世が、アメリカ合衆国第25代大統領マッキンリーを暗殺すると、連邦議会はずぐさま移民制限の条件に、無政府主義者を加える法律を制定した。また、移民全般

世界史

に対する不信感や不安感の高まりを受けて、中国人移民禁止法を無期限延長とする措置をとった。しかし、この中国人排斥措置に反発した中国国内外の中国人たち^(e)によって、大規模なアメリカ製品不買運動が展開されると、セオドア・ローズヴェルト大統領⁽⁴⁾はアメリカでの中国人商人や学生に対する対応の改善を要請した。この背景には、門戸開放政策のもと、短期間で急増したアメリカ合衆国から中国への輸出額が⁽⁵⁾、不買運動により半減したことがあった。ローズヴェルト大統領の対応からも、対外貿易がアメリカ合衆国の国益の増進と対外政策にとって、極めて重要な要素であったことがうかがえる。

19世紀後半、アメリカ合衆国は、移民を労働力として受け入れて諸産業を発展させると同時に、海外に進出したアメリカ人の活動をつうじて、貿易網を拡大させていった。アジア、南北アメリカ、アフリカの国々と数多くの通商条約を結ぶとともに、通商を円滑に拡大するために治外法権を条約で獲得していった。また、海外のアメリカ人の財産や生命が脅かされる危険性があると判断すると、すぐさま軍隊を派遣した。キューバで独立運動が起こった際も、砂糖のプランテーションを主とするアメリカ人の権益と安全の確保を目的に、アメリカ合衆国は軍艦を派遣し、アメリカ＝スペイン戦争を引き起こした。さらに、ハイチ、パナマ⁽⁷⁾、ニカラグア⁽⁶⁾、サモア、ホンジュラス、ドミニカなどへも軍隊を派遣した。こうした西半球におけるアメリカ合衆国による単独の軍事行動を正当化したのが、セオドア・ローズヴェルト大統領によるモンロー主義⁽⁸⁾の新たな解釈であった。その後のウイルソン大統領による新しい形態の国際関係⁽⁹⁾の提案や、クーリッジ政権下での戦争を非合法化する条約の共同提案にみられた、アメリカ合衆国による平和、民族自決、通商に対する国際主義的な姿勢についても、貿易^(d)の機会の追求によりアメリカ合衆国の覇権を拡大させる試みと表裏一体であったといえよう。

問1 下線部(1)について、以下の1～4の文のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 アメリカ合衆国のキューバへの内政干渉の権利を定めたプラット条項が1934年に撤廃された。
- 2 キューバがアメリカ人の資産を没収したことから、ケネディ大統領は1960年にキューバと国交を断絶した。
- 3 キューバのパティスタ政権は、アメリカ合衆国の軍事介入により倒された。
- 4 1960年のキューバ革命により、グアタナモのアメリカ海軍基地は撤去された。

問2 下線部(2)について、以下の1～4の文のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 リベリア共和国は、アメリカ合衆国の解放奴隷が送り込まれて建国されたアフリカの国家である。
- 2 ホームステッド法により、解放黒人の小作農は収穫の約半分を地主におさめなくてはならなくなった。
- 3 ジョンソン大統領が成立させた公民権法によって、白人による解放黒人に対する人種差別・隔離政策であるアパルトヘイトは廃止された。
- 4 クーリーは、解放後も低賃金で過酷な労働を強いられた元黒人奴隷を意味する呼称である。

世界史

問3 下線部(3)について、以下のa～dの文を古い順から正しく並べたものを、下記の1～4から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- a イギリスで、カトリック教徒に対する差別を撤廃することを定めたカトリック教徒解放法が制定された。
- b ビスマルクは、政教分離に反対するカトリック勢力を弱体化させるため、「文化闘争」を展開した。
- c フランスで、カトリックの政治介入を排除する政教分離法が制定された。
- d ヴァチカンを除き、ローマ教皇領はイタリア王国に併合された。

1 a→d→b→c

2 d→a→b→c

3 b→c→a→d

4 d→b→a→c

問4 下線部(4)について、以下の1～4の文のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 「新しい自由」を政治理念として掲げた。
- 2 メキシコ革命に介入するため、アメリカ軍を派遣した。
- 3 ソ連を承認した。
- 4 日露戦争の講和を調停した。

問5 下線部(5)について、以下の1～4の文のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 アメリカ合衆国の国務長官ジョン＝ヘイは、ウィーン会議において中国における勢力均衡を訴えた。
- 2 アメリカ合衆国は、列強各国に対し中国での租借地・勢力範囲の獲得における機会均等を訴えた。
- 3 この原則は、ワシントン会議で締結された九カ国条約に盛り込まれた。
- 4 アメリカ合衆国は、清と不分割条約を結び、福建省を勢力範囲とした。

問6 下線部(6)について、以下の1～4の文のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 この戦争の結果、メキシコはアメリカ合衆国の植民地となった。
- 2 この戦争の結果、ハワイはアメリカ合衆国に併合された。
- 3 この戦争後に起こったフィリピン＝アメリカ戦争で、フィリピン革命政府はアメリカ合衆国に敗北した。
- 4 この戦争の結果、ニューメキシコはアメリカ合衆国に併合された。

問7 下線部(7)について、以下の1～4の文のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 アメリカ合衆国は、スペインからパナマ運河の支配権を獲得した。
- 2 フランス人のレセップスは、パナマ運河の建設を試みた。
- 3 ラテンアメリカ独立運動の指導者シモン＝ボリバルによって、パン＝アメリカ会議が1889年にパナマで開催された。
- 4 パナマはスペイン支配時代、サン＝ドマングと呼ばれた。

問8 下線部(8)について、以下の1～4の文のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 アメリカ合衆国は、ヨーロッパの政治に介入しないとした。
- 2 アメリカ合衆国の外交原則である、「光栄ある孤立」に基づく方針である。
- 3 アメリカ合衆国によるラテンアメリカの植民地化を、ヨーロッパ諸国に容認させた。
- 4 ヨーロッパ諸国によるアジア・アフリカへの干渉を、アメリカ合衆国に対する干渉とみなすとした。

世界史

問9 下線部(9)に関連して、以下の国際連盟に関する1～4の文のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- 1 日本は国際連盟の常任理事国であった。
- 2 ソ連はロカルノ条約により、1926年に国際連盟に加盟した。
- 3 国際連盟は、アメリカ大統領ウィルソンの善隣外交の理念に基づき設立された。
- 4 イタリアは、リビア併合への非難に反発して、1933年に国際連盟を脱退した。

問10 空欄 に入る最も適切な語句を、解答欄に記入せよ。

問11 下線部(a)に関連して、東南アジアやアフリカやカリブ海諸島にやってきた、インド出身の移民の呼称を何というか。その呼称を漢字2字で解答欄に記入せよ。

問12 下線部(b)に関連して、ロシアの無政府主義革命家バクーニンの思想の影響を受け、19世紀末にフランスで始まった、労働組合を社会革命の基本的な組織とする運動の名称を何というか。その名称を解答欄に記入せよ。

問13 下線部(c)に関連して、1905年に東京で発足した清末の革命団体の名称を何というか。その名称を解答欄に記入せよ。

問14 下線部(d)に関連して、自由貿易を阻害し第二次世界大戦の遠因ともなった、世界恐慌期に主要国が形成した閉鎖的かつ排他的な経済圏のうち、アメリカ合衆国を中心とするものの名称を何というか。その名称を解答欄に記入せよ。

(白 紙)